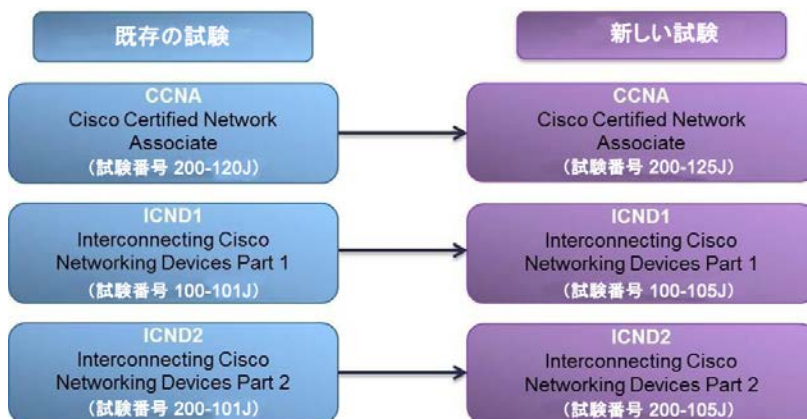


## CCNA Routing and Switching 認定 トレーニングおよび試験内容の変更点

企業がプログラマブル ネットワーク アーキテクチャを採用するにつれ、ネットワーク エンジニアに求められる知識やスキルは広がっています。CCNA Routing and Switching 認定では、このようなテクノロジーの進歩に対応するために構成の見直しを行い、その結果を各トレーニング コースや試験に反映しました。今回のカリキュラムにより、IT プロフェッショナルは、ソフトウェア定義型ネットワークング(SDN)や、エンタープライズ ネットワーク アーキテクチャ内での仮想化リソース統合に関する理解を深めることができます。

コース名および略称は変わりませんが、各試験番号は変更されています。

以下の図に現行の試験と新試験の対応を示します。



このドキュメントは、各試験の主な変更点についてその概要を示すものです。各分野では、テクノロジーに関するトピックを記載しています。これらのトピックでは、この試験の一般的な出題内容について説明します。ただし、試験によっては、ここに示されていない関連項目も出題される場合があります。

各ドメインには、CCNA Routing and Switching 認定保有者が担当する職務や業務内容がさらに適切に反映されています。

### Interconnecting Cisco Networking Devices Part 1 (ICND1) 概要

100-101J ICND1 試験は 100-105J ICND1 試験に変更されます。ドメイン総数は 7 から 5 に変更されました。更新された試験ドメインのカテゴリは、CCNP Routing and Switching、CCIE Routing and Switching および他のシスコ認定に沿ったものになっています。

## ドメインの比較

100-101 ICND1 v2.0	100-105 ICND1 v3.0
1.0 IP データ ネットワークの運用	1.0 ネットワークの基礎
2.0 LAN スイッチング テクノロジー	2.0 LAN スイッチングの基礎
3.0 IP アドレッシング	3.0 ルーティングの基礎
4.0 IP ルーティング テクノロジー	4.0 インフラストラクチャ サービス
5.0 IP サービス	5.0 インフラストラクチャの運用
6.0 ネットワーク デバイスのセキュリティ	
7.0 トラブルシューティング	

## ICND1 試験の比較

トラブルシューティングのトピックは該当する各ドメインで扱うことになりました。トピックの一覧については ICND1 v3.0 試験のトピックを参照してください。以下は、試験およびトレーニング カリキュラムに移行または追加された主なトピックの概要です。

### 削除または ICND2 試験に移行された主なトピック

- CCENT の受験者が IP ルーティング プロトコルを学習できるように RIP が使用されています。OSPF (単一エリア)およびその他の OSPF 関連トピックは ICND2 に移行されました。
- IPv4 から IPv6 に移行するためのさまざまなテクノロジーが登場しているため、デュアル スタックは削除されました。
- Cisco Express Forwarding (CEF) は削除されました。

### 追加された主なトピック

- エンタープライズ ネットワークの各インフラストラクチャ コンポーネントの影響およびインタラクションに関する概要レベルの知識。特に以下の内容。
  - ファイアウォール
  - アクセス ポイント
  - ワイヤレス コントローラ
- 従来の 3 階層アーキテクチャと比較したコラスプト コア アーキテクチャの知識。このオプションは、ディストリビューションおよびコアを 1 つの階層に展開し、アクセスは 2 番目の階層に展開します。
- IPv6 ステートレス アドレス自動設定機能 (SLAAC) の設定および確認。
- IPv6 のアドレッシング タイプに追加されたエニーキャスト。
- Link Layer Discovery Protocol (LLDP) の知識。Cisco Discovery Protocol に追加して使用される L2 Discovery Protocol。
- IPv4 用 RIPv2。ルーティング プロトコルが機能する仕組みを理解することに重点を置いています。
- DNS および DHCP に関連する接続問題を理解するために追加された要件。
- デバイスのモニタリングのための Syslog メッセージのロギングに対する理解。
- デバイス設定のバックアップおよび復元、IOS 機能ライセンス、タイム ゾーンの設定に関連するデバイス管理のスキルおよび知識。

[ICND1](#) 試験に利用できる学習資料を参照してください。

## Interconnecting Cisco Networking Devices Part 2 (ICND2) 概要

200-101J ICND2 試験は 200-105J ICND2 試験に変更されます。ドメイン総数は、5 のままで変わらず、CCNP Routing and Switching、CCIE Routing and Switching および他のシスコ認定に沿ったものになっています。

### ドメインの比較

200-101 ICND2 v2.0	200-105 ICND2 v3.0
1.0 LAN スイッチング テクノロジー	1.0 LAN スイッチング テクノロジー
2.0 IP ルーティング テクノロジー	2.0 ルーティング テクノロジー
3.0 IP サービス	3.0 WAN テクノロジー
4.0 トラブルシューティング	4.0 インフラストラクチャ サービス
5.0 WAN テクノロジー	5.0 インフラストラクチャの運用

### ICND2 試験の比較

トピックの一覧については ICND2 v3.0 試験のトピックを参照してください。以下は、試験およびトレーニング カリキュラムから削除、またはカリキュラムに追加された主なトピックの概要です。

#### 削除された主なトピック

- フレーム リレーおよびシリアル WAN テクノロジーは対象から除外されました。
- First Hop Redundancy Protocol から VRRP と GLBP が削除されました。HSRP は最もよく導入されているため、唯一残っています。

#### 追加された主なトピック

- インテリジェント WAN のデュアルホーム接続とシングルホーム接続の違いに関する知識。
- 企業のブランチを接続する際に使用される外部 BGP (eBGP) に関する基礎知識。
- 企業でよく利用される DMVPN、サイト間 VPN、クライアント VPN テクノロジーなどの拡張 VPN に関するトピック。
- エンタープライズ ネットワーク アーキテクチャでのクラウド リソースの利用方法に関する理解。以下を含む。
  - クラウド サービスがトラフィック パスおよびフローに与える影響
  - 一般的な仮想化サービスおよび従来のインフラストラクチャとの共存方法
  - 仮想ネットワーク インフラストラクチャ(ネットワーク機能の仮想化)の基礎
- プログラマブル ネットワーク (SDN) アーキテクチャに関する知識。以下を含む。
  - コントロール プレーンとデータ プレーンの分離
  - コントローラの機能の仕組み、および、API を使用してネットワーク アプリケーションとノースバウンドで通信し、R&S インフラストラクチャとサウスバウンドで通信する方法
- ACL のためのパス トレース アプリケーションの使用方法。パス トレースは、APIC エンタープライズモジュール (APIC-EM) でサポートされている、新たなキー ネットワーク アプリケーションの 1 つです。このツールを利用すると、複雑な ACL の導入時に発生する問題のトラブルシューティングを自動化して解決できます。
- さまざまな種類のトラフィックの輻輳を管理するために使用する、マーキング、シェーピング、ポリシング メカニズムに関連する QoS の概念に関する理解。QoS の必要性、および、音声、ビデオ、データのトラフィックの優先順位付けに使用する方法、および、ビジネス クリティカルな QoS ポリシーを導入するためにプログラマブル ネットワークが実現する自動化に関する理解。

---

[ICND2](#) 試験に利用できる学習資料を参照してください。

[詳細はこちら](#)

詳細については、[CCNA Routing and Switching](#) 認定 を参照してください。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2016年6月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先